

## 研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

### 消化管組織の3次元構造に関する研究

#### 1. 研究の対象および研究対象期間

2005年1月1日から2023年6月30日までに当院消化器内科にて食道、胃、腸の内視鏡的、外科的な腫瘍切除術を受けた方の一部

消化管内視鏡（胃カメラ・大腸カメラ）が進歩し、表面の血管の変化から腫瘍の場所や深さの診断ができるようになってきました。しかし、なぜ血管が変化してくるのかについて、いまだによく分かっていないことも多くあります。この研究では、患者さんから切除された食道、胃、大腸の組織を用いて、腫瘍の状態による血管の形の変化を調べるものです。組織を化学的に一度透明にして、血管と腫瘍の位置関係を明瞭にして観察する計画です。この研究によって、内視鏡では表面しか見えていない血管の変化の全体像を3次元的に知ることができ、これは内視鏡診断の大きな進歩につながると期待されます。この研究のためにあらためて検体を採取させていただいたり、お話を伺うようなことはありません。この研究で分かったことによって、治療方針が変更されることもありません。

研究の遂行や研究成果の発表は、患者さん個人が特定されることが無いように行われます。

#### 2. 研究期間

2021年4月1日～2025年3月31日

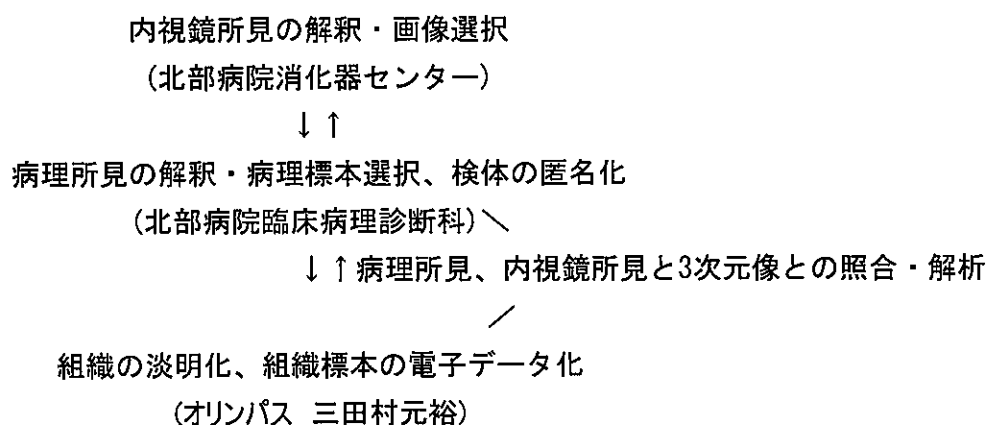
#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんから内視鏡的、外科的に切除された食道、胃、大腸の組織を用います。これらは腫瘍の状態・良性・悪性、進行度を顕微鏡で調べる、「病理診断」のためにパラフィンブロックという形にされ、患者さんの治療方針を決定するための病理診断に一部が利用され、診断が完了した後も残りが保存されています。

この材料から様々な標本作製し、内視鏡写真と対比します。患者さんの年齢と性別は基礎情報として記録されます。お名前や住所など個人が特定される情報は用いません。

**4. 外部への試料・情報の提供**

この研究は、当院臨床病理診断科、消化器センター内科および内視鏡の研究・開発を行っているオリンパスとの共同研究になります。オリンパスは組織を透明化した標本を作製し、解析を行います。患者さんの個人情報は院内病理診断科内で厳重に管理され、オリンパスには提供されません。オリンパスは、オリンパス(株)、オリンパスメディカルシステムズ(株)を含みます。

**5. 研究組織****6. お問い合わせ先**

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院臨床病理診断科 氏名：根本哲生

住所：横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1 電話番号：045-949-7000

研究代表者：根本哲生